

専門職業人材の最新技能アップデートのための
専修学校リカレント教育（リ・スキリング）推進事業

1. 創設年度：令和5年度

2. 令和7年度予算額：3.9億円

3. 事業概要

専修学校と企業・業界団体等が連携体制を構築し、各職業分野において受講者の知識・スキルを最新のものにアップデートできるリカレント教育のコンテンツを作成するとともに、企業・業界団体のニーズに応じたカスタマイズや受講しやすい環境構築等により、多くの企業が必要とするリカレント教育を提供することに加え、業界団体を通じて教育コンテンツの情報提供を行う体制を作るモデルを構築し、その成果の普及を図る。〈直接実施〉

4. 選定理由：ア（アウトカムの設定など、EBPM的観点から点検する必要があるもの）

本事業は、専修学校と企業・業界団体が連携体制を構築し、受講者の知識、スキルを各分野の最新のものにアップデートするためのリカレント教育のコンテンツを作成し、作成したコンテンツを業界団体等を通じて企業等に提供し、当該コンテンツが提供される教育講座等が安定的・持続的に活用される仕組みづくりを行うモデルづくりを行うものである。

令和5年度に採択した取組（16件）は、3年間の予定で実施してきたところ、令和8年度からは当該事業を継続し、これまでの成果を踏まえて、特に地方において、従業員の生産性向上による人手不足解消に資するようなモデルづくりを実施することを検討している。エッセンシャルな分野の企業は、人手の確保に苦勞している状況であるが、先端技術を活用して生産性をあげていくことへの認識が十分ではないことが想定される。令和8年度以降は、参画する企業等を掘り起こし、専修学校が地域のリカレント教育の核としてその動きを先導する仕組みを作っていくことを検討しているが、これまでの成果や取組状況等を踏まえたより効果的な事業の実施方法や今後の事業の成果検証のためのアウトカムやアウトプットの設定方法について公開の場で幅広い視点や専門性を有する外部有識者の意見を踏まえ、検討が必要である。

5. 想定される論点

専修学校におけるリカレント教育を通じて、生産性の高い人材を育成していくため、以下の論点で議論を行うことが想定される。

- ・これまでの事業成果を踏まえた今後の事業展開の在り方について。
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和6年度）

（長期アウトカム）・専修学校における社会人在籍者数（人）

専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育 (リ・スキリング) 推進事業

令和7年度予算額
(前年度予算額)

388百万円
402百万円)



文部科学省

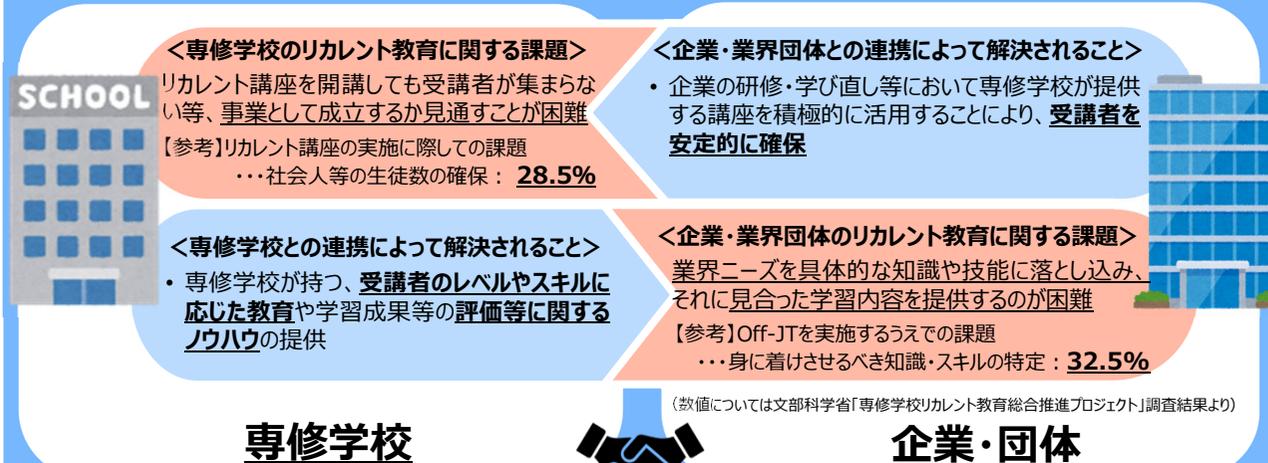
背景 ・ 課題

- 社会の変化が激しく、かつて専門学校で学んだ知識・技能だけではその変化に対応することは困難。
- 企業では社員に対し必ずしも十分な学び直しの時間を確保することはできていない。
- 教育未来創造会議の提言、骨太の方針等においてもリカレント教育の推進が求められているところ。

事業概要

専修学校と企業・業界団体等が連携体制を構築し、各職業分野において **受講者の知識・スキルを最新のものにアップデートできるリカレント教育のコンテンツを作成**するとともに、企業・業界団体のニーズに応じたカスタマイズや受講しやすい環境構築等により、多くの企業が必要とするリカレント教育を提供することに加え、**業界団体を通じて教育コンテンツの情報提供を行う体制を作るモデルを構築**し、その成果の普及を図る。

事業イメージ



協働によりリカレント教育プログラムを開発・提供
それぞれの強みを生かし、課題を解決

受講者（専門職業人材）

- ・各職業分野において、進歩著しい知識・技術のアップデートによる個人の資質の向上。
(例) 自動車整備 × 電気自動車等のクリーン技術、建築 × ゼロ・エネルギー住宅など
- ・企業や団体等からの推薦により、安心して学び直しに取り組むことが可能に。



事業メニュー

専門職業人材の最新知識・技能アップデートプログラムの開発

- 各職業分野（専修学校の教育内容8分野）において、**専修学校と企業・業界団体等との連携により、最新の知識・技能を習得することができるリカレント教育プログラムを作成**。
- 作成したプログラムについて業界団体等を通じて情報提供を行い、各企業や団体から専修学校でのリカレント教育講座等が**安定的・持続的に活用されるよう体制を構築**。
- 上記取組をモデルとし、その**効果の検証・成果について普及・展開**。
- **件数・単価：16分野×22百万円**
- **事業期間：令和5年度～令和7年度**

分野横断連絡調整会議の実施

- 各取組の進捗管理および連絡調整を実施。
- 各取組の事業成果を体系的にまとめ、普及・定着方策を検討。
- リカレント教育関連の動向や各職業分野に関する最新知識・技能等に関する情報収集、プログラム開発受託団体への提案等。
- **件数・単価：1か所×28百万円**
- **事業期間：令和5年度～令和7年度**

アウトプット（活動目標）

- ・各職業分野ごとに職業専門人材が学び直しにより最新知識・技能を身につけることが可能となるプログラムについてモデル開発 ⇒ 8分野×2か所 = 16か所

アウトカム（成果目標）

開発したモデルを全国の専修学校が活用し、各学校においてリカレント教育講座を開講

インパクト（国民・社会への影響）、目指すべき姿

誰もが一人一人のキャリア選択に応じて必要となる学びを受けられる機会の充実を図る。

成果の把握について

これまでの取組

リカレント教育のモデルを作成する対象分野・資格（16事例）

：訪問歯科衛生士、京料理・和食・日本料理等の調理師、観光、建築技術者、医薬品販売資格、介護・医療、事務、eスポーツ、情報技術者、プログラマー、飲食・サービス業、自動車整備、アパレル、美容師

<具体的な教育プログラムの事例>

○観光コンテンツ分野、エリアマネジメント分野人材：デジタルマーケティング、AI活用、情報発信、売れる観光商品の作り方など。

○介護人材：介護予防、マネジメント、多文化共生（外国人や障がい者）への対応、介護で活用できるロボット・センサーなどの活用など

○アパレル業界：社会環境の変化・顧客価値変化への対応やデジタル化（ECマース、メタバースなど）の技術習得など

現在のレビューシートにおけるアウトプット・アウトカム

	活動・成果目標	活動・成果指標
アウトプット	各取組拠点における多様なモデルの開発	開発したモデル数
短期アウトカム	モデルの普及による全国の専修学校におけるリカレント教育講座の開講・充実	－（設定なし）
長期アウトカム	専修学校における社会人の学びの機会の充実	専修学校における社会人在籍者数

事業の成果を高め、また、成果を把握・検証するための取組を行っているが、**レビューシートのアウトプット・アウトカムや指標にうまく反映できていない。**

各事例の質の向上や成果の把握・体系化・普及等に関する取組

【好事例を創出するための支援】

- ・分野横断連絡調整会議
- ・個別相談会議
- ・進捗管理ツールの提供

事務局を外部に委託し、文科省の担当と協力しながら、各事例へ伴走支援し、各事例及び事業の成果の最大化を図る。

【効果検証】※事務局が作成や設計の支援

- ・アンケート調査
- ・受講生インタビュー
- ・各事例のプログラムの効果・成果を検討（各事例の受託団体との勉強会の実施等）

【成果の体系化・普及定着】

- ・リカレント教育実施のためのガイドライン制作（開発した各リカレント教育プログラムのモデルの体系化を含む。）
- ・事例集の作成
- ・セミナーの開催、団体や各種ウェブサイト等を通じた普及展開

<次年度の展開予定>

将来の労働人口減に対応するため、エッセンシャルな分野における、AI等の先端技術の導入による生産性向上を目指したリカレント・リスキリングの教育プログラム開発モデルを創出

専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育（リ・スキリング）推進事業

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室 専修学校第2係				
	作成責任者	中安史明				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	005703	事業開始年度	2023	事業終了（予定）年度	2025
	事業年度	2024		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	文部科学省	1 新しい時代に向けた教育政策の推進		1 - 4 生涯を通じた学習機会の拡大		--
関連事業	--			主要経費	教育振興助成費	
概要・目的	事業の目的	誰もが一人一人のキャリア選択に応じて必要となる学びを受けられる機会の充実を図る。				
	現状・課題	人生100年時代においては、個々人が人生を再設計し、一人一人のライフスタイルに応じたキャリア選択を行い、新たなステージで求められる能力・スキルを身に付ける機会が提供されることが重要であり、リカレント教育・職業教育の抜本的拡充が求められている。また、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った、いわゆる就職氷河期世代に対する支援についても政府を挙げて取り組むほか、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に新たな学びが必要となった者等に対しても、受けやすく即効性のあるリカレント教育が確立されることが求められている。 また社会人の学び直しの実現に当たっては企業・専門学校側それぞれに課題がある。企業等の人事担当者の多くは、従業員に身に付けさせたい知識・スキルを体系的な研修プログラムに落とし込んで提供することが困難と考えている。一方、専修学校側は、リカレント講座の実施に当たり、各業界等のニーズの把握や生徒数の確保について不安を抱えている。				
	事業の概要	専修学校と企業・業界団体等が連携体制を構築し、各職業分野において受講者の知識・スキルを最新のものにアップデートできるリカレント教育のコンテンツを作成するとともに、企業・業界団体のニーズに応じたカスタマイズや受講しやすい環境構築等により、多くの企業が必要とするリカレント教育を提供することに加え、業界団体を通じて教育コンテンツの情報提供を行う体制を作るモデルを構築し、その成果の普及を図る。				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20240416-mxt_syogai01-000035504_1.pdf				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	--	--	--	--	--	

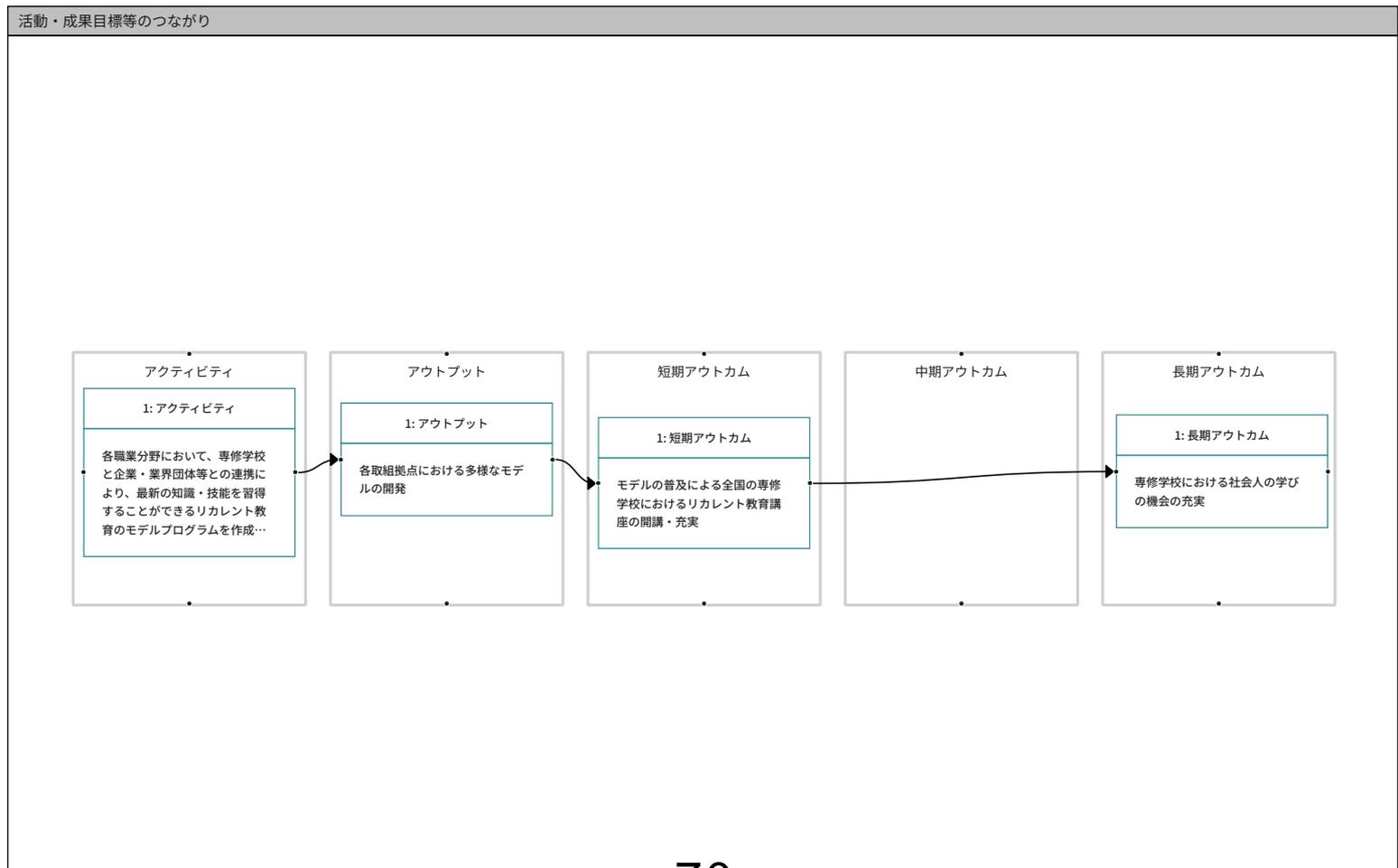
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	経済財政運営と改革の基本方針2022（令和4年6月7日閣議決定）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2022/2022_basicpolicies_ja.pdf				
	デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日閣議決定）	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/pdf/20220607_honbun.pdf				
	デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和5年6月9日閣議決定）	https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/5eca8cc-50f1-4168-b989-2bcaabffe870/b24ac613/20230609_policies_priority_outline_05.pdf				
	第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定） 教育未来創造会議 第一次提言（令和4年5月10日提言）	https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_soseisk02-100000597_01.pdf https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/220510honbun.pdf				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025
	要求額	--	403,900	401,600	401,629
	当初予算	0	401,600	401,629	--
	補正予算	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--
	予備費等	--	△21,198	--	--
	計	0	380,402	401,629	--
	執行率	--	94%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計		--	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算					
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 教育政策推進事業委託費			--	396,974	396,974
		当初予算					
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 庁費			--	2,225	2,225
		当初予算					
一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 職員旅費				--	1,397	1,397	
当初予算							
一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 委員等旅費			--	626	626		
当初予算							
一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 教育政策推進費 / 諸謝金			--	407	407		
主な増減理由	--			その他特記事項	--		

効果発現経路



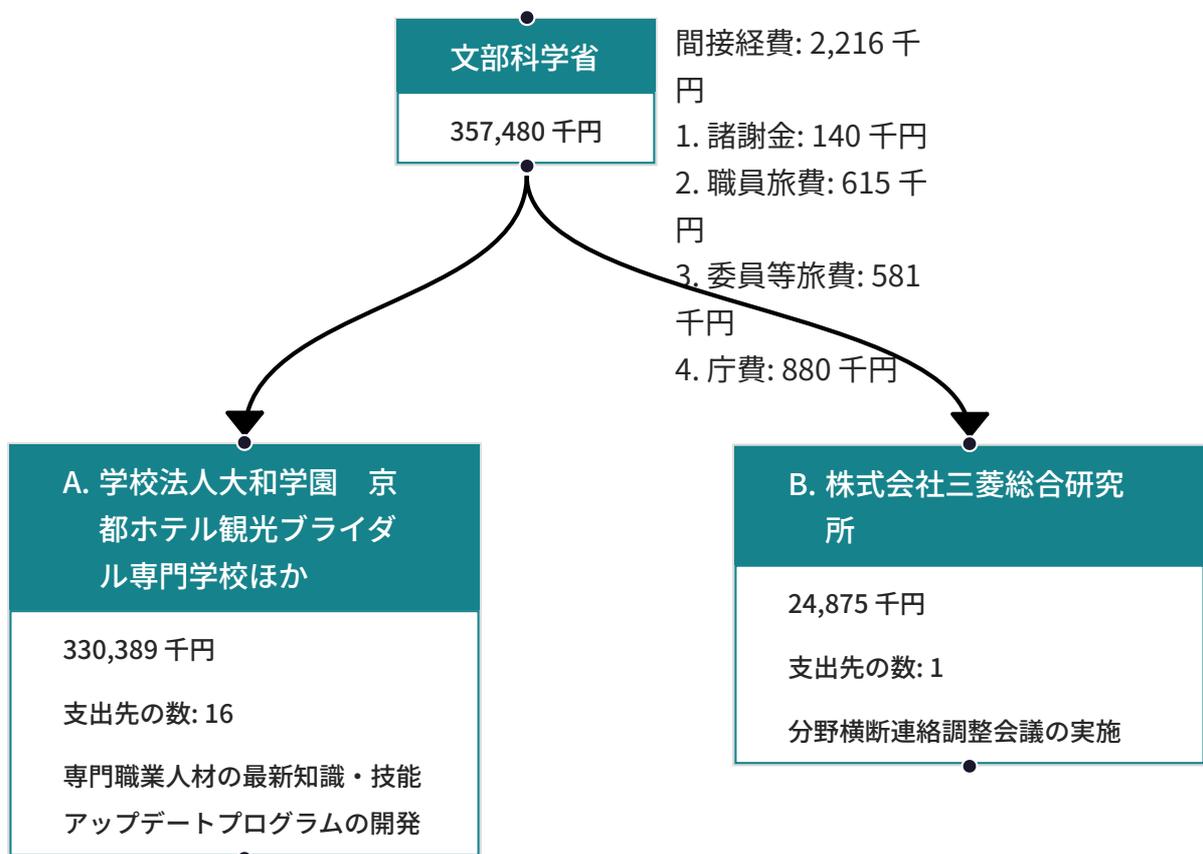
アクティビティからの発現経路 1-1-1-1

アクティビティ	各職業分野において、専修学校と企業・業界団体等との連携により、最新の知識・技能を習得することができるリカレント教育のモデルプログラムを作成する。作成したプログラムについて業界団体等を通じて情報提供を行い、各企業や団体から専修学校でのリカレント教育講座等が安定的・持続的に活用されるような体制のモデルを構築する。				
アウトプット	活動目標	各取組拠点における多様なモデルの開発		活動指標	開発したモデル数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み/目標値(件)		16	16	16
活動実績/成果実績(件)		16	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	専修学校の教育分野は多岐にわたるため、取組拠点を確保し、多様なモデル開発に取り組むことをアウトプットとした。 専修学校と企業・業界団体等が連携体制を構築し、各職業分野において受講者の知識・スキルを最新のものにアップデートできるリカレント教育講座の実践的なモデル開発が実現できれば、価値を感じた全国の専修学校がモデルを活用し、各学校においてリカレント教育講座を開講することが想定されることから、短期アウトカムとして「モデルの普及による全国の専修学校におけるリカレント教育講座の開講・充実」を設定した。				
短期アウトカム	成果目標	モデルの普及による全国の専修学校におけるリカレント教育講座の開講・充実		成果指標	-
	定性的なアウトカムに関する成果実績	本事業は複数年度事業であり、現在モデル完成に向けた取組の途上にある。そのためモデルの全国的な普及には至っていないが、モデル完成に向け各拠点においては、着実に取組を実施しているところである。		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	カリキュラムの改変・充実、本事業におけるモデルの活用だけでなく、企業・業界のニーズや社会の要請、教育を受ける受講者の声など、様々な要因を複合的に勘案して行われるものである。本事業以外にも専修学校向けのモデル開発事業を複数実施している中、各事業・メニューごとに、カリキュラム改変に至る経緯の振り返りや要因分解・分析をしてもらい、どの程度モデルを活用したのかを全国規模で調査することは、回答者負担も鑑み現実的でないため、定量的な指標の設定は困難である。		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	全国の専修学校において、多様かつ有用な講座が多く開講されれば、個人々のキャリア選択に応じて必要となる学びを受けられる機会の充実が図られると考え、長期アウトカムとして「専修学校における社会人の学びの機会の充実」を設定した。また全国の専修学校において、多様かつ有用な講座が多く開講されれば、要因の一つに過ぎないかもしれないが、その結果の表れとして専修学校でリカレント講座を受講する社会人が増加すると考え、成果指標には「専修学校における社会人在籍者数」を設定した。				

長期アウトカム	成果目標	専修学校における社会人の学びの機会の充実		成果指標	専修学校における社会人在籍者数 ※令和6年度調査結果は、令和7年3月頃とりまとめ予定					
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	私立高等学校等実態調査					
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--					
活動・成果目標と実績			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み/目標値(人)		119,926	183,659	182,215	--	--	--	--	190,000
	活動実績/成果実績(人)		183,659	182,215	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)		153.1	99.2	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--								
	URL	--								
	該当箇所	--								

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>本事業は、モデル開発により得られた成果を全国へ普及することで、専修学校において、社会人の多様な学習ニーズに応える学習機会の充実を図るものであり、国が総合的に推進していく必要があり、国費投入の必要性も高い。</p> <p>支出先の選定にあたっては、初年時に複数者による企画競争を行い、外部有識者による審査を経て、点数の高い企画提案者を選定しているため、支出先の選定方法は妥当である。</p> <p>アウトプットとしての開発したモデル数は目標を達成しており、「定性的なアウトカムに関する成果実績」欄で記載したとおり、各取組拠点において着実に実施がなされているところである。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	取組拠点において着実な実施に尽力し、アウトカム目標達成に向け、引き続き取り組んでいく。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2024
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	<p>事業目的は明確であり、事業内容は事業目的の達成手段として概ね適切なものとなっている。</p> <p>成果指標、成果目標値等については、短期アウトカム「モデルの普及による全国の専修学校におけるリカレント教育講座の開講・充実」を適切に評価できるよう検証・検討すべきである。</p> <p>リカレント教育といっても、多種多様なモデルプログラムを作成しているので、プログラムによって社会人に有用であるとか、人気がある、成果が上がりやすいなどには差異が生じる可能性がある。社会人にとって有用で人気のあるプログラムは業界内での横展開が出来るよう、まずはフォローアップ調査をしっかり行い、どのプログラムが該当するか、どのような内容が有用なのかについて検証を行うことが望まれる。</p>		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	この事業は、外部有識者の意見を踏まえ、事業成果を適切に評価できるように成果指標や成果目標値について検証・検討すべきである
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	<p>--</p> <p>--</p> <p>--</p> <p>短期アウトカムを適切に評価できるよう、開発しているプログラムについて事業期間内に継続的にフォローアップ・検証を実施し、それぞれのプログラムの事業終了後の普及・展開に向けた取組を進めていく。開発しているモデルが団体ごとに多様なため、その検証方法については、一律に設定することは困難であるが、事業の成果をよりの確に測ることのできる成果指標の設定については引き続き検討を行う。</p>		
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位: 千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校ほか	330,389	16	専門職業人材の最新知識・技能アップデートプログラムの開発	
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人大和学園	23,586	5130005004251		
	契約概要 (契約名) / 契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
	京都観光の付加価値向上に寄与する産学官連携アップデートプログラムの推進 随意契約 (企画競争)	23,586	32	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人大和学園	23,297	5130005004251		
	契約概要 (契約名) / 契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
	EdTechを活用した京料理・和食・日本料理等調理分野の職業人を対象とした人材育成リカレントプログラムの実証事業 随意契約 (企画競争)	23,297	32	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人福田学園	22,573	4120005004740		
	契約概要 (契約名) / 契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
	建築技術者・技能者のIT活用力アップデートのためのリカレント教育推進事業 随意契約 (企画競争)	22,573	32	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	一般社団法人日本eスポーツ学会	22,558	2011005008298		
	契約概要 (契約名) / 契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
	地方創生を促進するeスポーツスタートアップ人材を育成する最新技能アップデートプログラム開発事業 随意契約 (企画競争)	22,558	32	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		

学校法人摺河学園	22,553	7140005013456		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業 随意契約（企画競争）	22,553	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
一般社団法人全国専門学校情報教育協会	22,458	2011205001714		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
情報技術者の技能アップデートのためのリカレント教育推進事業 随意契約（企画競争）	22,458	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人小山学園	22,322	6011205000159		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
自動車業界における“業務に直結する”基礎知識・先端技術の習得プログラム開発 随意契約（企画競争）	22,322	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人アイデア熊本アジア学園	22,175	2330005010323		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
観光業界のIT活用リカレント教育モデル構築事業 随意契約（企画競争）	22,175	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人Y I C学院	21,984	3250005001890		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

観光・料飲・サービス業等の階層別リスクリングのモデル構築事業 随意契約（企画競争）	21,984	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人第一平田学園	21,869	7260005001787		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
アパレル産業における社会変化に対応した技能アップデートプログラムの開発と実証事業 随意契約（企画競争）	21,869	32	100	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	105,014	--		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
その他の契約 随意契約（企画競争）	105,014	32	100	--
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B 株式会社三菱総合研究所	24,875	1	分野横断連絡調整会議の実施	
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社三菱総合研究所	24,875	6010001030403		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
専修学校リカレント教育のモデル形成・効果検証・普及啓発等推進支援事業 随意契約（企画競争）	24,875	2	100	--

費目・用途 (単位：千円)	支出先名		契約概要（契約名）	費目	用途	金額
	A	学校法人大和学園	京都観光の付加価値向上に寄与する産学官連携アップデートプログラムの推進	雑役務費	動画制作費用等	17,848
	--	--	--	人件費	職員給与	2,583
	--	--	--	一般管理費	直接経費×10%	2,144
	--	--	--	諸謝金	会議出席謝金等	444
	--	--	--	旅費	会議出席旅費等	424
	--	--	--	借損料	シンポジウム会場使用料	143
	B	株式会社三菱総合研究所	専修学校リカレント教育のモデル形成・効果検証・普及啓発等推進支援事業	人件費	職員給与	21,539
	--	--	--	一般管理費	直接経費×10%	2,261
	--	--	--	雑役務費	Web調査費等	925
--	--	--	旅費	調査旅費等	129	
--	--	--	諸謝金	講演謝金等	20	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
	--		--	--		

その他備考

--
